

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第184号
事故等種類	衝突
発生日時	平成22年9月21日 07時40分ごろ
発生場所	京浜港横浜第2区神奈川県横浜市本牧ふ頭D4岸壁付近 (概位 北緯35°26.3′ 東経139°40.9′)
事故等調査の経過	平成22年9月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A コンテナ船 ^{ハーモニア エクスプレス} HAMMONIA EXPRESS（英国籍）、39,941トン 9238777（IMO番号）、Pacific Leasing L.T.D.,UK B スパッド台船 第22 ^{よしの} 吉野号、4,000トン なし、吉野建設株式会社
乗組員等に関する情報	A 船長A、ルーマニア籍、船長免状（英国発給） 水先人、東京湾水先区水先免状
死傷者等	なし
損傷	A 球型船首擦過傷 B 左舷外板凹損
事故等の経過	A船は、船長Aほか24人が乗り組み、水先人の水先の下、本牧ふ頭D4岸壁に着岸作業中、前進約3ノット（kn）から最微速後進及び微速後進の操作が行われたが、後進とならなかったため、機関操縦を船橋から機側に移す一方、投錨するとともにタグボートに船尾方へ引かせて行きあしを止めようとしたが、平成22年9月21日07時40分ごろ、同D3岸壁で浚渫作業中のB船と衝突した。 A船は、機関室の手動操作で主機が後進に作動し、本牧ふ頭D4岸壁に左舷着けした。
気象・海象	気象：天気 曇り、風 北北東、風力 1、視程 約6km 海象：潮汐 下げ潮の中央期
その他の事項	A船のAIS記録によれば、07時39分08秒ごろの船速は、2.2knであった。 A船は、浦賀水道航路入航前及び横浜航路入航後に主機のテストを実施していた。 A船管理会社は、以前も機関遠隔操縦盤の故障が発生したため、主機の保守点検を2年ごとに実施していた。 A船は、主機の操作を船橋から機関制御室及びローカルステーション（手動操作場所）に切り替える訓練を定期的に行っていた。 A船は、9月27日、大韓民国釜山において、主機の修理を実施したが、始動制御ユニットのスライド弁が固着し、空気が主機の始動空気分配弁に供給されなかったため、主機が後進に作動しなかったことが判明した。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし A船は、水先人が水先を行い、本牧ふ頭D4岸壁に着岸作業中、水先人が、最微速後進、微速後進を指示したが、主機の始動制御ユニットのスライド弁が故障したため、主機が後進に作動せず、同D3岸壁で浚渫作業中のB船と衝突したものと考えられる。 A船は、機関故障発生時、投錨するとともにタグボートに船尾方へ引かせて行きあしを止めようとしたものと考えられる。
原因	本事故は、A船が、本牧ふ頭D4岸壁に着岸作業中、主機の始動制御ユニットのスライド弁が故障したため、主機が後進に作動せず、同D3岸壁で浚渫作業中のB船と衝突したことにより発生したものと考えられる。	